



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 互応化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4962 URL http://www.goo-chem.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 兼 経理部部長 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,509	△2.5	161	△27.2	175	△28.4	106	△21.5
2019年3月期第2四半期	3,601	△5.6	222	△51.4	244	△58.2	136	△74.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 66百万円 (△52.8%) 2019年3月期第2四半期 141百万円 (△75.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	16.90	—
2019年3月期第2四半期	21.24	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,844	13,845	87.2
2019年3月期	16,200	13,999	86.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,811百万円 2019年3月期 13,965百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600	6.3	380	2.0	430	10.3	310	41.7	49.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	6,992,000株	2019年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	669,882株	2019年3月期	669,882株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	6,322,118株	2019年3月期2Q	6,411,390株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、外需が下押しする中、輸出は低迷、内需も省力化の設備投資が下支えするものの、全体としては鈍化傾向にあります。また雇用環境は被雇用者にとっては良好な状況ながらも、生産活動の停滞を受け、賃金の伸びは鈍く、消費税の増税前後の一時的な増減は見られても、平均的には個人消費は力強さを欠いたものとなりました。

当社グループにおきましては、各業界の様々な要因による需給バランスや環境規制などの影響を受け、付加価値を持つ製品を生み出している分野においては国内外を問わず好調に推移しましたが、全体としての販売は伸び悩みました。

このような状況の中、世界をとりまく環境の変化に迅速に対応すべく、研究開発に集中するための短期プロジェクト化、生産の合理化や設備の有効利用のための他社との協力など、新たな試みに挑戦しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,509百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は161百万円（同27.2%減）、経常利益は175百万円（同28.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は106百万円（同21.5%減）の減収減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## (反応系製品)

反応系製品の中で繊維関係は、国内市場は衣料用、資材用とも引き続き低迷し、海外市場は当社がターゲットとする高級衣料分野が季節要因も含め好調に推移したものの全体では前年同期を下回り、繊維関係全体でも前年同期を下回る結果となりました。

製紙印刷関係は、出版物の減少、パッケージの減少から低迷し、ダイレクトメール用圧着ニスとは昨年度より動きはあったものの市場の減少傾向は見られ、前年同期を若干下回る結果となりました。

化粧品関係は、国内市場においてヘアセット関連が順調に動き、ヘアカラー分野の新規採用、洗浄剤分野において大手メーカーでの新規採用があったことから前年同期を大きく上回る結果となりました。また海外市場においても好調に推移し前年同期を上回る結果となり、全体として好調に推移しました。

その他工業用分野は、水溶性ポリエステル樹脂の国内市場は、繊維向けは堅調に推移したものの主要分野であるフィルム向けが低迷したことにより前年同期を下回り、海外市場は包装材料が廃プラスチック問題より低迷、ポリエステル樹脂全体としても前年同期をやや下回る結果となりました。転写関係は国内建築市場が持ち直しつつあるものの前年同期では下回り、海外市場も低調な状態が続く結果となりました。メッキ関係は国内市場の車載部品関連は低調に推移しましたが、海外プリント基板関連は回復傾向にあり、印刷用途については堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は3,030百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は524百万円（同10.4%増）となりました。

## (混合系製品)

混合系製品の中で電子部品関係は、国内市場においてアミューズメント関連及びLED用途は低迷しましたが、スマートフォン関連の買い替え需要などにより回復傾向となり、前年同期を上回る結果となりました。

海外市場においては他社低コスト製品の投入や、円高元安による価格競争の低下により、低調に推移する結果となりました。

その結果、当セグメントの売上高は479百万円（同8.8%減）、営業損失は62百万円（前年同期は営業利益12百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,844百万円と前連結会計年度末に比べ、356百万円減少しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ459百万円減少し9,647百万円となりました。これは、現金及び預金が207百万円増加しましたが、有価証券が300百万円、受取手形及び売掛金が126百万円、原材料及び貯蔵品が59百万円、その他に含まれております未収消費税が87百万円、未収法人税等が58百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ103百万円増加し6,196百万円となりました。これは、有形固定資産が74百万円、無形固定資産が5百万円それぞれ減少しましたが、投資その他の資産が183百万円増加したことによるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ165百万円減少し1,487百万円となりました。これは、未払法人税等が65百万円増加しましたが、電子記録債務が145百万円、未払金が78百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ36百万円減少し511百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が1百万円増加しましたが、役員退職慰労引当金が37百万円減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ154百万円減少し13,845百万円となりました。これは、利益剰余金が114百万円、為替換算調整勘定が20百万円、その他有価証券評価差額金が19百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から207百万円増加し1,454百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は427百万円（前年同期は増加額25百万円）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益151百万円（前年同期比26.5%減）に対し、仕入債務の減少額171百万円（同663.7%増）及び未払金の減少額93百万円（前年同期は増加額4百万円）などがあったものの、減価償却費177百万円（前年同期比2.6%減）及び売上債権の減少額156百万円（同15.8%減）及び未払消費税等の増加額130百万円（前年同期は減少額78百万円）及び法人税等の還付額65百万円（同支払額199百万円）があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は8百万円（前年同期は減少100百万円）となりました。これは主として、投資有価証券の取得による支出207百万円（同支出5百万円）及び有形固定資産の取得による支出108百万円（前年同期比38.3%減）がありましたが、有価証券の償還による収入300百万円（前年同期は一）及び有形固定資産の売却による収入26百万円（前年同期は一）があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は221百万円（前年同期比60.1%減）となりました。これは、前期に支出した自己株式の取得による支出の減少（前年同期は支出額291百万円）及び配当金の支払額221百万円（前年同期比15.4%減）があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,028,343	6,235,740
受取手形及び売掛金	1,634,168	1,507,785
電子記録債権	335,508	296,032
有価証券	300,729	—
商品及び製品	803,332	766,421
仕掛品	299,134	321,830
原材料及び貯蔵品	519,664	460,365
その他	193,729	66,176
貸倒引当金	△7,051	△6,502
流動資産合計	10,107,559	9,647,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,591,840	4,501,001
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,204,388	△3,157,833
建物及び構築物 (純額)	1,387,452	1,343,167
機械装置及び運搬具	6,697,727	6,720,282
減価償却累計額	△6,162,348	△6,221,564
機械装置及び運搬具 (純額)	535,378	498,717
工具、器具及び備品	1,129,501	1,153,627
減価償却累計額	△956,032	△974,169
工具、器具及び備品 (純額)	173,469	179,457
土地	2,613,507	2,598,880
建設仮勘定	5,214	20,420
有形固定資産合計	4,715,022	4,640,643
無形固定資産		
投資その他の資産	75,245	70,144
投資有価証券	1,180,229	1,354,066
繰延税金資産	97,503	109,207
その他	40,685	37,558
貸倒引当金	△15,771	△15,060
投資その他の資産合計	1,302,646	1,485,772
固定資産合計	6,092,914	6,196,560
資産合計	16,200,474	15,844,411

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	455,654	429,401
電子記録債務	643,194	497,876
未払金	244,976	165,982
未払費用	3,210	900
未払法人税等	3,619	68,876
賞与引当金	201,940	199,939
役員賞与引当金	14,500	14,000
その他	86,349	110,990
流動負債合計	1,653,444	1,487,967
固定負債		
役員退職慰労引当金	95,837	58,571
退職給付に係る負債	451,473	452,640
固定負債合計	547,311	511,211
負債合計	2,200,755	1,999,179
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,763,791	12,649,365
自己株式	△696,010	△696,010
株主資本合計	13,737,771	13,623,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,197	191,090
為替換算調整勘定	18,099	△1,953
退職給付に係る調整累計額	△758	△703
その他の包括利益累計額合計	227,538	188,433
非支配株主持分	34,408	33,452
純資産合計	13,999,718	13,845,232
負債純資産合計	16,200,474	15,844,411

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,601,347	3,509,923
売上原価	2,348,455	2,311,644
売上総利益	1,252,892	1,198,278
販売費及び一般管理費	1,030,653	1,036,494
営業利益	222,238	161,783
営業外収益		
受取利息	5,586	5,286
受取配当金	6,746	7,659
為替差益	—	4,036
受取ロイヤリティー	591	524
受取補償金	18,834	—
その他	6,356	6,377
営業外収益合計	38,114	23,885
営業外費用		
売上割引	7,020	5,988
為替差損	1,794	—
支払補償費	3,604	—
持分法による投資損失	2,467	3,373
その他	603	1,029
営業外費用合計	15,490	10,390
経常利益	244,863	175,278
特別利益		
固定資産売却益	—	11,607
特別利益合計	—	11,607
特別損失		
役員退職慰労金	35,056	28,507
固定資産売却損	421	—
固定資産除却損	3,562	7,105
特別損失合計	39,040	35,612
税金等調整前四半期純利益	205,822	151,273
法人税、住民税及び事業税	53,056	48,504
法人税等調整額	17,563	△4,102
法人税等合計	70,620	44,402
四半期純利益	135,202	106,870
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	136,151	106,848
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△949	22



(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,031	△19,107
為替換算調整勘定	△18,686	△21,034
退職給付に係る調整額	△71	58
その他の包括利益合計	6,272	△40,083
四半期包括利益	141,474	66,787
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143,208	67,743
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,733	△955

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	205,822	151,273
減価償却費	182,229	177,571
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,166	△1,032
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,924	△2,001
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△43,621	△37,266
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,250	△500
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,807	1,898
受取利息及び受取配当金	△12,332	△12,946
為替差損益 (△は益)	△4,326	△137
持分法による投資損益 (△は益)	2,467	3,373
有形固定資産売却損益 (△は益)	421	△11,607
有形固定資産除却損	3,562	7,105
売上債権の増減額 (△は増加)	185,514	156,279
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△153,287	69,805
仕入債務の増減額 (△は減少)	△22,427	△171,266
未払金の増減額 (△は減少)	4,839	△93,656
未払費用の増減額 (△は減少)	△2,568	△2,217
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△78,423	130,439
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△17,150	△18,369
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	14,996	△2,368
その他	△35,447	3,434
小計	212,734	347,811
利息及び配当金の受取額	12,354	14,138
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△199,363	65,181
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,725	427,132
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,370,843	△2,371,245
定期預金の払戻による収入	2,464,083	2,371,007
有価証券の償還による収入	—	300,000
投資有価証券の取得による支出	△5,258	△207,411
有形固定資産の取得による支出	△175,673	△108,435
無形固定資産の取得による支出	△9,320	—
有形固定資産の売却による収入	—	26,233
固定資産の除却による支出	△3,560	—
貸付けによる支出	△959	△1,980
貸付金の回収による収入	651	347
投資活動によるキャッシュ・フロー	△100,879	8,515
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△291,828	—
配当金の支払額	△261,361	△221,019
非支配株主への配当金の支払額	△414	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,604	△221,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,272	△7,071
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△630,030	207,557
現金及び現金同等物の期首残高	1,831,331	1,247,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,201,301	1,454,893

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,075,519	525,828	3,601,347	—	3,601,347
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75,412	—	75,412	△75,412	—
計	3,150,932	525,828	3,676,760	△75,412	3,601,347
セグメント利益	474,649	12,326	486,976	△264,737	222,238

(注) 1. セグメント利益の調整額△264,737千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,030,369	479,553	3,509,923	—	3,509,923
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79,944	—	79,944	△79,944	—
計	3,110,314	479,553	3,589,868	△79,944	3,509,923
セグメント利益 又は損失(△)	524,209	△62,923	461,286	△299,502	161,783

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△299,502千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。